

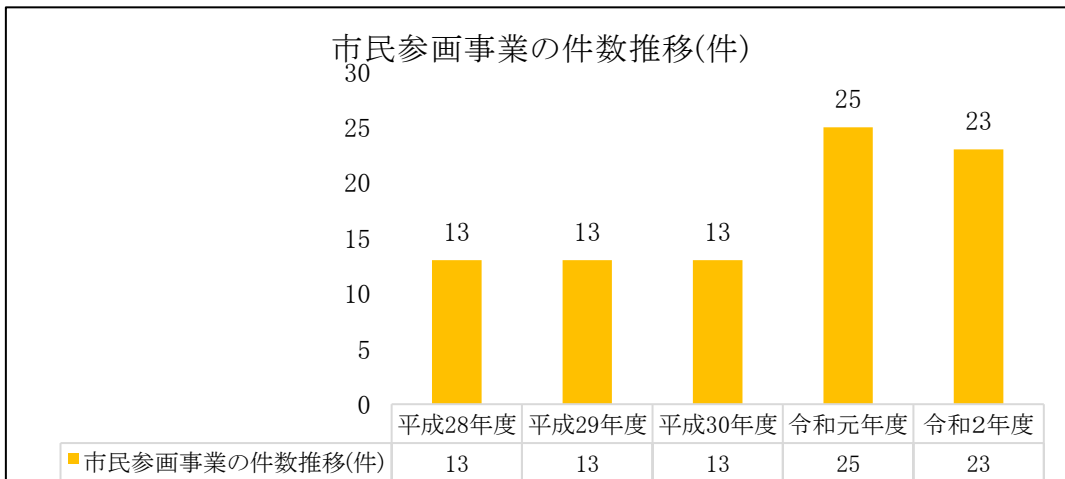
第2次推進計画では、各部署において実施計画の進捗を図るとともに、以下のような基盤整備を行う必要性について言及していました。そこで、第2次推進計画の総括として、基盤整備に向けた取組の成果をまとめました。

1 市民参画及び協働の推進

① 審議会などへの市民参画の推進

- 市民参画の状況を把握するために調査を実施した。

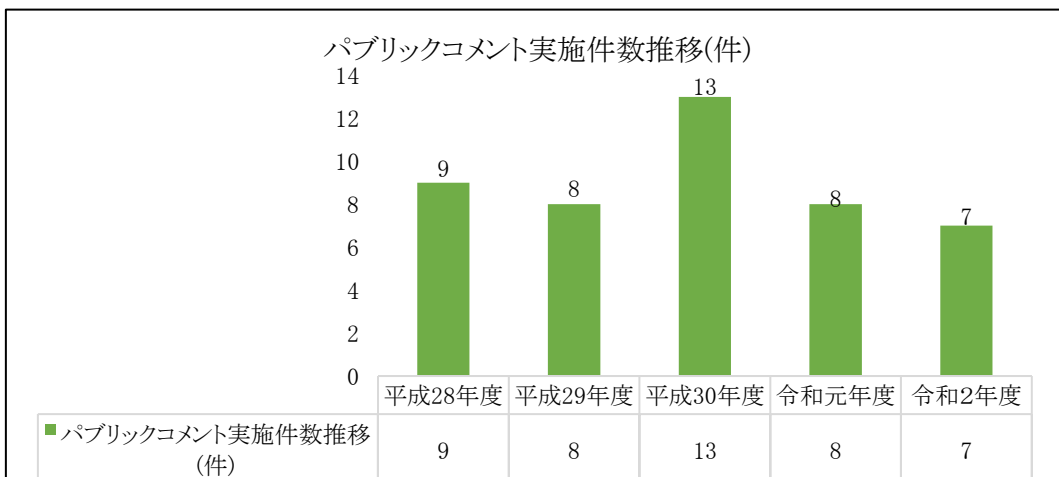
【市民参画事業の件数推移】



② 市の施策への市民の発案の反映

- パブリックコメントを継続して実施

【パブリックコメント実施件数推移】

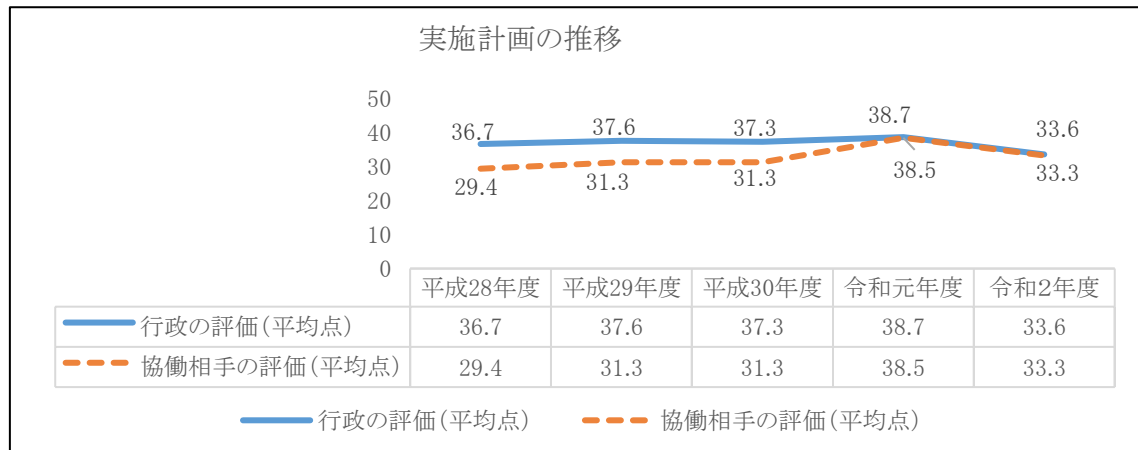


2 ボランティア・NPO活動の活性化

① 市民や市民公益活動団体と行政との役割分担の構築

- ・「実施計画」の評価を行政だけでなく、協働相手からも意見と評価をしてもらい、意見交換や情報共有の機会の増加に取り組んだ。

【実施計画評価の推移】



② 市民公益活動団体への積極的な情報提供

◇ボランティアインフォメーションセンター（はぐくみセンター1階）

※以下、「ボランティアインフォメーションセンター」

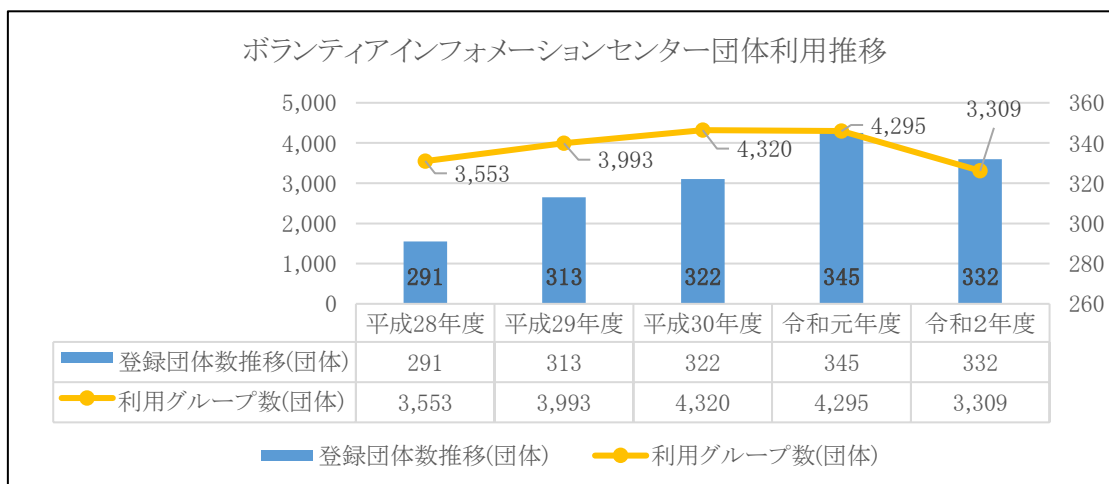
- ・ホームページのリニューアル及び「ツイッター・YouTube」による情報発信
- ・市民公益活動団体など各主体の活動内容についての情報発信や共有できる機会として、「HUG²祭り」を毎年度開催

【HUG²祭り推移】

	平成 28 年度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年度
参加者数	793 人	923 人	1,146 人	1,296 人
参加団体数	47 団体	38 団体	56 団体	59 団体
満足度（良かった）	78%	81%	82%	81%

※令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により未実施。

【ボランティアインフォメーションセンター団体利用推移】



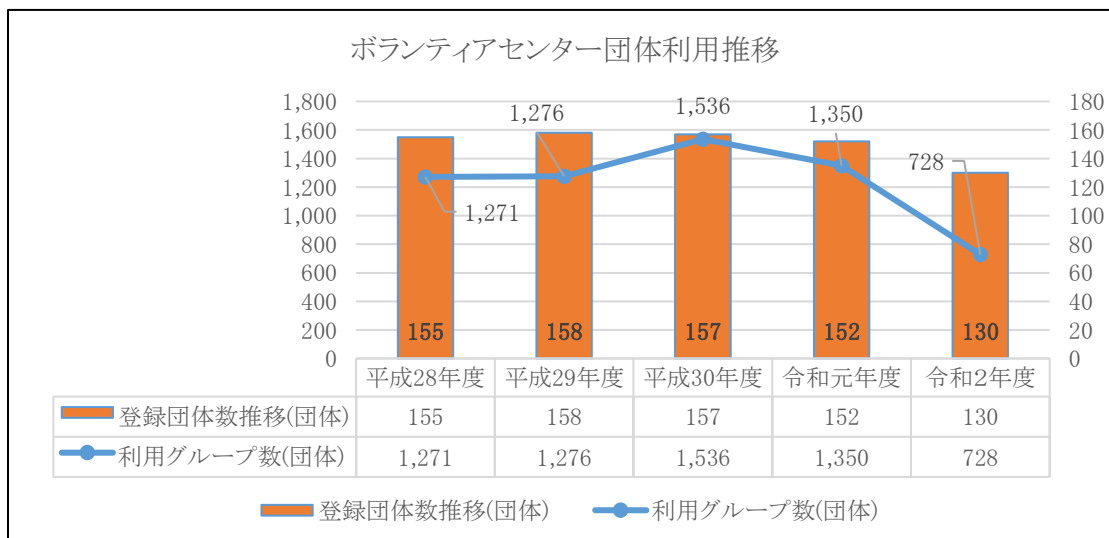
※令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少

◇ボランティアセンター（東福祉センター西隣）

社会福祉法人奈良市社会福祉協議会が指定管理者として管理運営

- ・ホームページや「フェイスブック」による情報発信
- ・登録ボランティアグループ活動紹介誌の発行

【ボランティアセンター団体利用推移】



※令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少

◇両センター

- ・ボランティア募集情報誌や活動メンバー募集一覧を発行
- ・「行きます」「来てください」カードによる情報発信
- ・「ボランティア登録制度」による情報発信(2021.3.1より)

③ 市民公益活動の主体となる人材の育成

◇ボランティアインフォメーションセンター

- ・ボランティア入門講座の実施
- ・ボランティア養成講座の実施
- ・市民公益活動団体と協働によるボランティア養成講座の実施

【ボランティア入門講座推移】

	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年度	令和2年度
実施回数	12回	12回	7回	4回	5回
参加者数	126人	221人	98人	109名	36人
満足度※	82.8	95.8	85	88	90.5

※講座ごとのアンケートを100点満点に換算し、平均をとったもの

※令和2年度は1月オンライン配信のみの実施。3月は集合型とオンライン配信の同時開催。

◇ボランティアセンター

- ・ボラカフェの実施
- ・登録グループと協働による講座や事業の実施

【ボラカフェ参加者実績】

	平成28年度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年度	令和 2 年 度
実施回数	11回	11回	11回	9回	8回
参加者数	320人	359人	373人	309人	128人

④ 協働型社会に向けた意識づくり・環境づくり

- ・平成30年度より協働のための職員研修を再開した。

【協働のための職員研修受講者アンケート（理解度）】

	平成30年度		令和元年度	
	回答数	割合	回答数	割合
よく理解できた	15	16.3%	26	46.4%
ある程度理解できた	74	80.4%	30	53.6%
あまり理解できなかった	2	2.2%	0	0.0%
ほとんど理解できなかった	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.1%	0	0.0%
合計	92	100.0%	56	100.0%

※令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により未実施。

⑤ 市民公益活動の拠点となる施設の運営

- ・市民公益活動の拠点として、ボランティアセンターやボランティアインフォメーションセンターを引き続き運営した。
- ・両センターでは、会議室などの提供やロッカー・メールボックスの貸出など、ボランティア活動の拠点として運営した。
- ・ボランティアインフォメーションセンターにおいて、市民公益活動団体を支援するために資金調達講座や会計支援講座、広報デザイン講座などを実施。
- ・ボランティアインフォメーションセンターにおいて、市民公益活動団体の運営などをサポートするためにNPO運営設立相談会やNPO会計個別相談会、NPOのためのSNS運用相談会などを実施。

講座満足度

【市民公益活動団体を支援するための講座】

(資金調達講座や会計支援講座、広報デザイン講座など)

	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年度	令和 2 年度
実施回数	6 回	8 回	3 回	10 回	5 回
参加者数	37 名	75 名	60 名	81 名	54 名
満足度※	90	89	91	90	96

※講座ごとのアンケートを100点満点に換算し、平均をとったもの

【市民公益活動団体の運営などをサポートするための講座】

(NPO運営設立相談会やNPO会計個別相談会、NPOのためのSNS運用相談会)

	平成 30 年 度	令和元年度	令和 2 年度
実施回数	13 回	14 回	10 回
参加者数(相談件数)	38 件	39 件	26 件
満足度※	100	97.5	99.6

※講座ごとのアンケートを100点満点に換算し、平均をとったもの

⑥ 市民公益活動へのきっかけづくりと推進

- ・奈良市ポイント制度ボランティアポイントを活用し、ボランティア活動へのきっかけづくりや活動の推進を図った。
- ・毎年度NPO法人条例指定制度の指定団体を募集し、令和2年度10月時点の条例指定団体は3団体となった。

3 地域活動の推進



① 市民の地域コミュニティの一員としての意識向上

- ・転入者に自治会加入促進チラシの配布を行った。
- ・地域の課題について考える「地域コミュニティワークショップ」やセミナーを実施した。

【地域コミュニティワークショップ・セミナー等開催実績】

	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年度	令和2年度
実施地区数	0 地区	3 地区	3 地区	7 地区	2 地区

② 地域コミュニティ活動の拠点となる施設の整備

- ・既存の公共施設を活用して地域自治協議会の拠点整備を行った。

【拠点整備実施内容】

令和元年度

- ・公民館分館の地域ふれあい会館への移行（2施設）
- ・学校の余裕教室や公民館旧管理人室の改修（3施設）
- ・その他既存の拠点施設の改修（2施設）

令和2年度

- ・公民館分館の地域ふれあい会館への移行（1施設）

③ 地域における新たな協力・連携の仕組みの構築

- ・地域における新たな協力・連携の仕組みとして、「地域自治協議会」の設立要件を定め、各地区でのセミナーや説明会などを通して意識醸成を図った。
- ・地域自治協議会準備交付金による設立支援及び地域自治協議会の認定及び立ち上がり支援交付金による設立後の初期活動支援を行った。
- ・奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例を改正し、新たに地域自治協議会の定義及び役割を追加することにより、市の協働のパートナーとしての位置付けを明確にした。

【準備会及び地域自治協議会認定実績】

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
準備会設置地区数	15 地区	1 地区	2 地区
認定地区数	—	11 地区	1 地区

- ・地域が自立して活性化や課題解決のために活動できるようにコーディネートし、また、地域単独では課題解決が困難な場合には、行政の窓口として相談を受け、関係課とのパイプ役となり、課題解決に向けた支援を行う職員として、市役所本庁及び各出張所、行政センターに地域づくりコーディネーターを計10名配置し、行政窓口の一本化及び地域自治協議会の設立・運営への支援体制を構築した。